

第40回日本血液事業学会総会プログラム

SL1

特別講演 1

1日目：10月4日（火）13：10～14：10 第1会場

飛躍するジェットビジネスの今

演者：島内 克幸（三菱重工航空エンジン株式会社取締役社長）

座長：高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

SL2

特別講演 2

2日目：10月5日（水）10：30～11：30 第1会場

新医療体制の展開

演者：河原 和夫（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

医歯学系専攻環境社会医歯学講座政策科学分野教授）

座長：北井 曜子（日本赤十字社血液事業本部）

SL3

特別講演 3

2日目：10月5日（水）15：20～16：20 第1会場

献血思想普及・推進と血液事業の調和

演者：一瀬 篤（厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長）

座長：中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

SE1**特別教育講演 1****2日目：10月5日（水）16：30～17：20 第1会場****E型肝炎**

演者：三代 俊治（東芝病院研究部部長）

座長：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

SE2**特別教育講演 2****3日目：10月6日（木）9：00～9：50 第1会場****採血時の神経損傷の病態と対策・治療**

演者：平田 仁（名古屋大学予防早期治療創成センター教授）

座長：入田 和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

SE3**特別教育講演 3****3日目：10月6日（木）11：00～11：50 第1会場****輸血細胞治療の新たな展開と血液事業**

演者：室井 一男（自治医科大学輸血・細胞移植部教授）

座長：高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

EL1

教育講演 1

1日目：10月4日（火）10:00～10:50 第1会場

血液検体を用いた研究課題とその成果

演者：永井 正（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

座長：塩原信太郎（石川県赤十字血液センター）

EL2

教育講演 2

1日目：10月4日（火）11:00～11:50 第1会場

伊勢志摩サミットとおもてなし

演者：大橋 範秀（伊勢志摩サミット三重県民会議事務局長）

座長：岡田 昌彦（三重県赤十字血液センター）

EL3

教育講演 3

1日目：10月4日（火）14:20～15:10 第3会場

自己血輸血に伴う自己血管スケールの考案

演者：山本 香世（中国電力株式会社中電病院看護科）

座長：竹尾 高明（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

EL4

教育講演 4

2日目：10月5日（水）15:20～16:10 第3会場

交通事故防止に向けてのKM理論の実践

演者：松永 勝也（一般社団法人安全運転推進協会代表理事・九州大学名誉教授）

座長：松崎 浩史（福岡県赤十字血液センター）

EL5

教育講演 5

3日目：10月6日（木）10：00～10：50 第1会場

供血・輸血をめぐる医療訴訟

演者：田邊 昇（中村・平井・田邊法律事務所弁護士）

座長：大西 一功（愛知県赤十字血液センター）

SY1

シンポジウム 1

1日目：10月4日（火）9:50～11:40 第2会場

救急医療を支える血液事業とは

座長：林 勝知（岐阜県赤十字血液センター）

中津留敏也（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

①救命救急センターにおける血液製剤の使用状況

花木 芳洋（名古屋第一赤十字病院救命救急センター長・救急部長）

②地方救命救急センターにおける血液使用状況

白子 隆志（高山赤十字病院副院長兼第一外科部長兼麻酔科部長兼救命救急センター長）

③救急の現場での血液製剤の適正使用について

- AB型血漿、O型赤血球の使用も含めて-

林 勝知（岐阜県赤十字血液センター）

④血液センターの立場から

簾持 俊洋（日本赤十字社血液事業本部）

SY2

シンポジウム 2

1日目：10月4日（火）9:50～11:40 第3会場

血液センターにおける看護師の役割

座長：首藤加奈子（大阪府赤十字血液センター）

北折健次郎（愛知県赤十字血液センター）

①これからのかの看護師の役割について

首藤加奈子（大阪府赤十字血液センター）

②キャリア開発に向けて～関東甲信越ブロックでの取り組み～

根本真理子（神奈川県赤十字血液センター）

③プリセプターシップの実際と血液センターにおける看護師新人教育のあり方

後藤 勝美（広島県赤十字血液センター）

④アフェレーシスナースの役割

算用子裕美（北海道赤十字血液センター）

⑤看護師の推進活動への連携について

廣瀬 光枝（大分県赤十字血液センター）

SY3

シンポジウム3

2日目：10月5日（水）9:00～10:50 第2会場

MRの果たすべき役割

座長：高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

大西 一功（愛知県赤十字血液センター）

①MRの決意表明

高橋 雅彦（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

②供給部門との連携について

菅原 拓男（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

③顧客満足度向上を目指して

高瀬 隆義（日本赤十字社血液事業本部）

④医療機関から期待すること

加藤 千秋（名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門副臨床検査技師長）

⑤副作用情報の意義～TACOは副作用か～

岡崎 仁（東京大学大学院医学系研究科病態診断医学講座輸血医学教授）

SY4

シンポジウム4

2日目：10月5日（水）13:20～15:10 第1会場

血液事業運営体制の再構築（総会長シンポジウム）

座長：高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

①九州ブロック血液センターの医療機関との関わりについて

石田 忠三（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

②行政との連携

森島 賢靖（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

③献血受入れ体制の見直し

中島 信雄（宮城県赤十字血液センター）

④品質保証体制の見直し

三谷 孝子（日本赤十字社血液事業本部）

⑤学術・供給体制の見直しに向けて

西田 一雄（東京都赤十字血液センター）

⑥EBMに基づいたクリオ沈殿再考と血液事業

藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

SY5

シンポジウム 5

2日目：10月5日（水）15：20～17：10 第2会場

さい帯血移植を含む造血幹細胞移植の現状及び今後の課題

座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

①造血幹細胞移植の現状（骨髄移植、末梢血幹細胞移植）

村田 誠（名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学准教授）

②造血幹細胞移植の現状（さい帯血移植）

加藤 剛二（名古屋第一赤十字病院小児医療センター血液腫瘍科部長）

③さい帯血バンクの展望と課題（調製保存・検査について）

小川 篤子（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

④さい帯血バンクの展望と課題（統一に向けたスケジュールについて）

加藤 和江（日本赤十字社血液事業本部）

⑤骨髄バンクのボランティア活動

水谷 久美（認定特定非営利活動法人あいち骨髄バンクを支援する会事務局長）

SY6

シンポジウム 6

3日目：10月6日（木）9：00～10：50 第2会場

広域的事業の更なる発展のために～供給体制の再構築～

座長：森澤 隆（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

旗持 俊洋（日本赤十字社血液事業本部）

①東北ブロックにおける県境を越えた供給体制について

横山 裕志（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

②統計モデルによる短期需要予測

荒添 悟（福岡県赤十字血液センター）

③医療機関担当者の果たすべき役割について

石川 雅一（岡山県赤十字血液センター）

④緊急持出血液の運用実態について

寺田 亨（秋田県赤十字血液センター）

⑤走行管理に向けた取り組み（愛知Cデジタコ導入の成果、活用）

山田 忍（愛知県赤十字血液センター）

WS1

ワークショップ1

1日目：10月4日（火）14：20～15：40 第2会場

輸血用血液製剤の安全性とサービスの在り方

座長：五十嵐 滋（日本赤十字社血液事業本部）

圓満字 豊（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

①輸血用血液の安全性向上のための検査の変更とその効果
平 力造（日本赤十字社血液事業本部）②赤血球抗原情報検索システム導入による現状
毛利 啓子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）③検査サービス項目で異常値を示した血液について～献血者と血液製剤の対応～
松倉 晴道（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）④個別 NAT 導入による現状と課題
坂田 秀勝（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）⑤細菌の不活化の最新状況について
五十嵐 滋（日本赤十字社血液事業本部）

WS2

ワークショップ2

1日目：10月4日（火）15：20～16：40 第3会場

採血をめぐる諸課題

座長：北折健次郎（愛知県赤十字血液センター）

新林佐知子（宮城県赤十字血液センター）

①献血者安全性向上の試み—宮城方式 VVR パスの導入経験—
新林佐知子（宮城県赤十字血液センター）②東京都版下肢筋緊張運動（AMT）の成分献血における効果の検証
川村 良子（東京都赤十字血液センター）③シーフテストの必要性について—献血者アンケートから見えるもの—
山口 和子（愛知県赤十字血液センター）④血液事業情報システム導入前後の採血部門におけるインシデント事例の動向について
酒井香代子（大阪府赤十字血液センター）

⑤血色素不採血者に対する取り組み

～鉄分添加食品の摂取による血色素値への影響を考える～

宮本 曜子（和歌山県赤十字血液センター）

⑥採血手技教育用映像教材の作成とその活用について
東條 友子（愛知県赤十字血液センター）

WS3

ワークショップ 3

1日目：10月4日（火）15:50～17:10 第2会場

血液事業における品質照査～どこまでやる？なにができる？なにが必要？～

座長：三谷 孝子（日本赤十字社血液事業本部）

NG JUNG YI（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

① GMP適合性調査の指摘事項を踏まえて

池上 正純（日本赤十字社血液事業本部）

②近畿ブロック血液センターにおける製品品質照査の現状と課題（品質保証部門）

小蘭 由香（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

③品質照査の現状と課題（製造部門）—製造部門におけるトレンド分析の取り組み—

内藤 友紀（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

④品質照査の現状と課題（検査部門）

鳥居 紀宏（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

WS4

ワークショップ 4

2日目：10月5日（水）9:00～10:20 第3会場

献血推進とボランティア活動

座長：西田 一雄（東京都赤十字血液センター）

津田 正成（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

①ボランティア活動～国内外の歴史から見える真相～

石原 貴代（名古屋学芸大学ヒューマンケア学部講師）

②日赤のボランティア活動の現状と今後

横井利津子（日本赤十字社愛知県支部）

③ボランティアの育成

井上 慎吾（日本赤十字社血液事業本部）

④ボランティアとして、取材者として。両面から見た献血推進活動とこれから

林 輝（株式会社和歌山放送報道制作局報道制作部ディレクター）

⑤協力団体との連携～ライオンズクラブ等の紹介による献血セミナー～

藤田 嘉秀（兵庫県赤十字血液センター）

SP1

特別企画 1

1日目：10月4日（火）14：20～17：00 第1会場

地域からの挑戦

14：20～15：40

第1部「献血推進における現状と今後の課題」

座長：塩原信太郎（石川県赤十字血液センター）

瀧川 正弘（東京都赤十字血液センター）

①若年層献血の推進について～将来を見据えた献血～

片原 浩二（北海道赤十字血液センター）

②初回献血者の対策～初回献血者をいかにリピーターにするか～

櫻井 聰（岡山県赤十字血液センター）

③400mL献血向上の取組み

早坂 勤（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

④一稼働あたりの献血者数及び単位数向上への取組み

由田 和宏（石川県赤十字血液センター）

15：40～17：00

第2部「災害にどう対応したか」

座長：豊岡 重剛（福井県赤十字血液センター）

宮本 行孝（日本赤十字社血液事業本部）

①山梨県の雪害への対応

秋山 進也（山梨県赤十字血液センター）

②離島への対応

草野 敏樹（長崎県赤十字血液センター）

③南海トラフ巨大地震時の輸血用血液製剤の緊急供給体制について

溝渕 樹（高知赤十字病院第一内科部長）

④医薬品営業所管理者からみた危機管理とは

八代 進（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

SP2

特別企画 2

2日目：10月5日（水）9:00～10:20 第1会場

ブロック血液センター所長推薦優秀演題

座長：高松 純樹（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①[北海道ブロック] 北海道ブロックにおける経営改善に向けた取組みについて

高橋 博道（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

②[東北ブロック] クリニカルパスを参考にした、チェック式VVR観察記録の評価

土橋 美紀（宮城県赤十字血液センター）

③[関東甲信越ブロック] 移動採血車の稼働効率向上に向けた架装器材車の活用

八木 英樹（神奈川県赤十字血液センター）

④[東海北陸ブロック] 地域性を生かした小規模ルームでの献血者確保の取り組み

－地域に根ざし、広がる推進活動－

吾郷 太起（愛知県赤十字血液センター）

⑤[近畿ブロック] 若年層へ発信 今、看護師だからできる広報

本田 尚美（京都府赤十字血液センター）

⑥[中四国ブロック] 高知センターにおける供給部門と学術部門の連携

梁川真理子（高知県赤十字血液センター）

⑦[九州ブロック] ヘモグロビン不足者へのさらなる取り組み

「再来間隔の目安を示すことで、献血可能者を増やすことができる」

松島奈穂美（熊本県赤十字血液センター）

共催セミナー 1

1日目：10月4日（火）12:00～13:00 第2会場

共催：グリフォルス社

血液製剤の更なる安全性と適合性を求めて

①個別NAT導入効果—輸血用血液の安全性の向上の検証—

演者：鈴木 雅治（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

座長：圓藤ルリ子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

②HLA適合血小板の現状と課題

演者：柏瀬 貢一（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

座長：加藤 道（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

共催セミナー 2

1日目：10月4日（火）12:00～13:00 第3会場

共催：テルモBCT株式会社

がん患者の就労の現状、支援について

座長：竹尾 高明（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

水谷 久美（認定特定非営利活動法人あいち骨髄バンクを支援する会事務局長）

共催セミナー 3

1日目：10月4日（火）11:50～12:50 第4会場

共催：富士レビオ株式会社

肝炎ウイルスの最前線

座長：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

①C型肝炎の疫学：最前線

演者：田中 純子（広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学教授）

②B型肝炎診療の最前線

演者：田中 靖人（名古屋市立大学大学院医学研究科病態医科学教授）

共催セミナー 4

1日目：10月4日（火）12:00～13:00 第5会場

共催：シスメックス株式会社

血小板減少症と輸血療法

演者：羽藤 高明（愛媛大学医学部附属病院輸血・細胞治療部特任教授）

座長：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

共催セミナー 5

1日目：10月4日（火）17：10～18：10 第4会場

共催：和光純薬工業株式会社／旭化成ファーマ株式会社
糖代謝異常検出マーカーとしてのグリコアルブミン（GA）
～母子を糖尿病から守る予防キャンペーンを含めて～

演者：大森 安恵（海老名総合病院糖尿病センター長）
座長：豊岡 重剛（福井県赤十字血液センター）

共催セミナー 6

1日目：10月4日（火）17：10～18：10 第5会場

共催：株式会社イムコア
NGSによるHLA Typing

演者：田中 秀則（公益財団法人 HLA 研究所所長）
座長：木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

共催セミナー 7

2日目：10月5日（水）12：10～13：10 第2会場

共催：アボット ジャパン株式会社
医療小説の現実と矛盾

演者：久坂部 羊（作家・医師）
座長：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

共催セミナー 8

2日目：10月5日（水）12：15～13：15 第3会場

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
HIV感染症の検査と治療の現状

演者：白阪 琢磨（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
臨床研究センターエイズ先端医療研究部長）
座長：永井 正（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

共催セミナー 9

2日目：10月5日（水）12：10～13：10 第4会場

共催：テルモ BCT 株式会社

分割血小板の効率的な採血への取り組み

演者：高平 佳奈（埼玉県赤十字血液センター）
遠山ひろみ（埼玉県赤十字血液センター）
大木 玲奈（埼玉県赤十字血液センター）
吉田 千尋（埼玉県赤十字血液センター）
井田 雄太（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）
座長：中津留敏也（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

共催セミナー 10

2日目：10月5日（水）12：15～13：15 第5会場

共催：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

ウイルス感染症検査の新たな展開～ddPCR 法の可能性～

演者：向出 雅一（株式会社エスアールエル技術開発部技術開発1課）
座長：溝上 雅史（国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター長）